

FORZA 駒澤 選手紹介 PART11

井邑太一 (MF・4年)

今回の選手紹介は井邑太一選手です。なんと小学校時代の監督は父親だったという井邑選手！小・中・高といずれも副キャプテンやキャプテンを務めてきたというお話からはサッカーに対するまじめさだけでなく、井邑選手の間心性までもが覗えました。そんなお話に注目です。

監督は実の父親

サッカーは、長崎の五島半島に親が教員でそれに付いて行ったんです。父親が先生でそこで初めてサッカー部創ったんです。夏はソフトボールやって冬はサッカーやってる小学校で、かきもちでずっとやってました。サッカーの監督はずっと父親がやってました。やりたくはなかったですね。でもさけてました(笑)。厳しくはなかったですね。勝負にこだわるっていうよりは、サッカーを楽しむっていうのを教える方で。県大会も出たりして結構強かったです。ポジションはFWやFWでして、3トップでセンターFWやって、小学校の時はFWしかやってた事なかったですね。ソフトボールは4年生までシヨートやって5、6年はピッチャーでした。サッカーの方が全然良かったんです。

小さい頃はワンパクでした。一日中外で遊んでましたね。でも、結構まじめで生徒会長とかもやってたんです。嫌じゃなかったです。中学校は部活でやってました。中学から長崎の本土に引越したんです。結構強いつて言われてる所入っ



て。練習量は、中学校のOBの人が国見出身で小嶺監督の練習とかずっとやってた人だから、「長崎の中学で一番練習してるぞ、お前ら」みたいな事言われて、それくらい走らされまくって。夏の日とか走りこみばっか、帰ると道端で寝てる仲間とかいて(笑)。走りすぎで逆に大会の時とかになると、カゲ人が多くて駄目なんじゃないかって。1、2年の時はFWやって、3年になってポランチに転向してやりました。市の選抜でポランチやらされて、FWよりポランチの方が楽しいなって。前まで待ってるのが性に合わなかったんで、ボールを常に追いかけてみたい感じが。試合に初めて出たのは、1年の夏です。3年の先輩は県選とか入って上手い人だったんで、その夏の時に調度同じポランチの先輩がケガしたんで、出させてもらって。その試合は圧勝でしたよ。何が何だか分からないうちに終わってました。1年の時は、先輩たちが凄く恐くて準備とかしないと怒られて、それが出来てなかったら練習終わった後1年だけ呼ばれてダッシュみたいなの事やってました。たぶん生きてた中で一番厳しいです。辞めたいとか考えられないほど疲れました。

高校は、中学校で結構選抜とか入ってたんで誘われた所とかもあってたんですけど、親がサッカーで行くのはキツイっていうことで。進学校がいりつか長崎にあるんですけど、推薦がもらえて、それで一番自分の家から近い高校に行くことにしました。サッカー部弱くて、監督も普通の顧問しか居なくてゴール裏の半分くらいの所で練習してるようなチームで。高校の時は高校誘ってくれた先生が色んな学校に居たんで、県の選抜のメンバーとかに入れたらいいなって。ほとんど国見だったんですけど、ほとんどと居なかったんで、知り合いがほとんど居なかったんで、肩身狭い思いしてました(笑)。進学校なんて勉強の方が大変でした。1限の前に0限ってあって。宿題もたくさん出たんで、寝ながら宿題やってました。余裕なかったですね。3年の時キャプテンやってました。大変でしたね。監督が喝入れたりしなきゃいけないじゃないですか。全部自分が言わなきゃいけないんじゃないかと思って、それでも余裕なくなりました。高校の時は分かんなかったんですけど、それで人間的に結構成長したなって、心も体も。余裕ない中であって、やってたんで、今考えればあれがあっ

人間的に成長した高校時代

たから今、大学で少し余裕持って出来ると思います。

この代は他の大学の中でも一番!

大学は、関東でやりたいというのがあったんで、偶然受けたのが受かって。最初、普通に入れると思ってたらセクシオンとかあって、入れなかったらどうしようかと思ったんですけど何とか入れました。セクシオンはそんなに良くなかったんですけど、たまにまよってだけ他人より良かったから入れてもらえたみたい。でも感謝してます。監督とは1年の頃とかは全然話してなくて。でも取りあえず監督の言うことは何でもやってみようかって。2年まではずっとBチームに入れてもらってそれからずっとAチームで。いつもよりは走れるようになったし、自分に足りないものが分かるようになったんで、そこを直していきけるように頑張ろうかと思ってたっていうのはあります。この年代は自主練とかまじめにやって、比較的好い年代なんじゃないかと思いましたが。練習終わった後とかもずっと暗くなるまでボール蹴ってたり、暇さえあればボール蹴って。ずっとボール蹴ってないって追いつけないみたいな感覚がありましたからね。小さな所からアピールしてましたからね。食欲でしたよ。

やっぱ監督には影響を受けたし、仲吉コーチは、僕らの年代色々言われたんですけど、紅白戦の時とかもずっと駄目だしで。駄目だったからその後Aチームにも入れたと思うし、悪い事言ってくれるのも大事だなんて思います。駒大に来て良かったのは出会いですかね。他の大学の4年の中でも一番だと思えます。

●井邑 太一 / 1981年6月10日生まれ。177cm 68kg。奈留小・岩屋中・長崎太陽台高。家族構成は父、母、弟。長所は楽観的な所。短所は考えなさすぎる所。趣味は絵画鑑賞。部屋の掃除。得意なプレーはインサイドキック。好きな言葉は愚公移山。

野澤俊介 永峰 綾 越智千絵子 山本麻紗子 伊藤優香 遠藤雅之 川崎篤彦 関 翔一 深松美里

FORZA駒沢は毎週金曜日発行! お便り、感想などはこちらまで 〒154-8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1 駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール forzakamazawa@otmail.com TEL/FAX 03 (3418) 9556 発行人 野澤俊介

岩本哲也から見た 井邑太一

飲みすぎ注意。そして、限られた時間もサッカー一色で過ごしましょう!

小林亮が柏に入団内定

25日、DF小林亮が来季、柏レイソルに入団することが発表された。本人は「ライバルが誰であろうとやるべきことをやるだけです。チームに求められることだけをやれば良いかなと思っています。まずは試合に出られるように頑張りたいです」とコメント。デビュー後、兄(慶行・東京V)との兄弟対決が楽しみである。 ※さらに詳しいコメント内容はコマスポ HPに掲載しております。